

2022年3月期（第122期）
（2021年4月1日～2022年3月31日）

芦森グループ決算説明資料

連結業績は、売上高 53,514百万円、
営業利益 536百万円、経常利益 671百万円、
親会社株主に帰属する当期純利益 510百万円となりました。

2022年 5月 13日

芦森工業株式会社

2022年3月期業績は 前期比で増収増益

	2021年3月期	2022年3月期	前期比	
	実績	実績	百万円	%
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	51,248	53,514	2,266	4.4
営業利益	359	536	177	49.3
（営業利益率）	0.7%	1.0%	-	0.3
経常利益	419	671	251	60.0
特別損益	▲ 240	35	276	-
税金等調整前 当期純利益	178	707	528	295.4
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲ 433	510	944	-

- 前期は自動車安全部品事業において主要顧客の生産調整に伴う販売低迷等、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたこともあり、前期比で大幅増収。
- 物流費の大幅な増加や原材料費の高騰があり、営業利益の改善は小幅。為替差益や連結納税制度導入による税負担減少で、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅に改善。

		2021年3月期	2022年3月期	前期比	
		実績	実績	百万円	%
		百万円	百万円	百万円	%
自動車安全部品事業	売上高	33,594	35,718	2,123	6.3
	営業利益	▲ 1,278	▲ 877	401	-
	(営業利益率)	▲ 3.8%	▲ 2.5%	-	1.3
機能製品事業	売上高	17,621	17,764	143	0.8
	営業利益	2,845	2,556	▲ 288	▲ 10.1
	(営業利益率)	16.1%	14.4%	-	▲ 1.8
不動産収入、本社経費他	売上高	32	32	▲ 0	▲ 0.3
	営業利益	▲ 1,207	▲ 1,142	64	-
合 計	売上高	51,248	53,514	2,266	4.4
	営業利益	359	536	177	49.3
	(営業利益率)	0.7%	1.0%	-	0.3

自動車安全部品事業

通期では受注は大幅に回復したが、生産変動が大きく、コスト削減が進まず。納期対応のための航空便出荷や海上運賃の高止まり、原材料費の高騰等により、損益の改善幅は想定を下回った。サプライチェーンの正常化は依然として見通せない状況。

機能製品事業

【パルテム関連】ライフライン（下水道・上水道・ガス等）の管路更生分野において、主力の下水道分野は順調に推移し、売上は増加したが、鋼材をはじめとする原材料費の高騰により利益は横這い。
 【防災関連】災害対策用排水ホースは想定を大きく上回ったものの、消防用ホース、防災関連資機材がともに期を通じて低調で、売上・利益ともに減少。
 【産業資材関連】高機能資材織物(タイミングベルト関連)が好調に推移したが、トラックの大幅減産の影響を受け、物流省力化分野が苦戦。売上は増加したが、利益は減少。

(単位：百万円)	2021年3月 期末	2022年3月 期末	前期末比
流動資産	29,740	30,062	321
固定資産	17,114	20,221	3,106 ※
資産合計	46,855	50,283	3,428
有利子負債	14,226	16,557	2,331 ※
その他負債	16,338	16,463	124
負債合計	30,564	33,020	2,455
資本金	8,388	8,388	0
資本剰余金	1,632	1,632	0
利益剰余金	6,610	7,120	509
自己株式	▲ 157	▲ 151	5
その他の包括利益累計額	▲ 225	235	460
新株予約権	24	21	▲ 2
非支配株主持分	17	17	0
純資産の部合計	16,290	17,263	972
負債及び純資産の部合計	46,855	50,283	3,428
自己資本比率	34.7%	34.3%	▲ 0.4%

※ 固定資産と有利子負債は、本社・大阪工場での土地取得により増加。

(単位：百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,487	▲ 1,021	▲ 4,509
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,019	▲ 4,190	▲ 3,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 221	1,738	1,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	80	65
現金及び現金同等物の増減額	2,262	▲ 3,392	▲ 5,655
現金及び現金同等物の期末残高	5,574	2,181	▲ 3,392

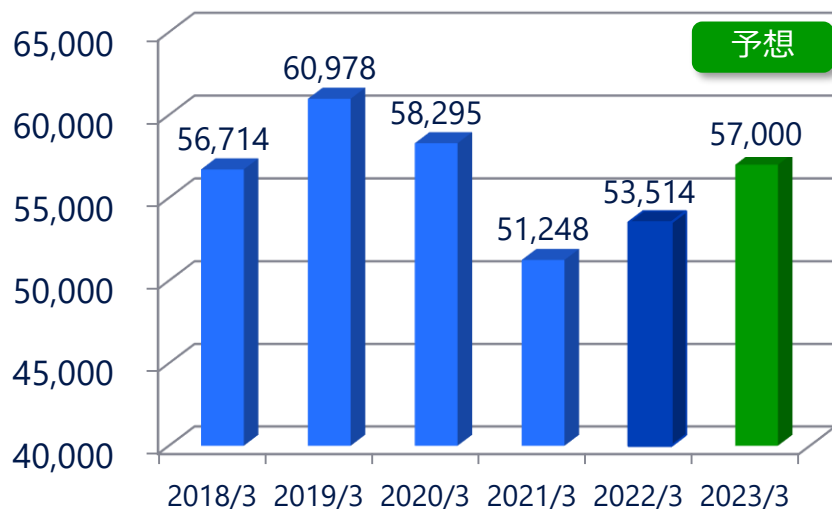
(単位：百万円)	2018/3 期	2019/3 期	2020/3 期	2021/3 期	2022/3 期
設備投資額	3,986	4,375	2,817	1,545	4,762
減価償却費	1,650	1,906	2,209	2,057	1,842

- 「営業活動によるキャッシュ・フロー」
棚卸資産の増加等により、前期比で悪化した。
- 「投資活動によるキャッシュ・フロー」
本社・大阪工場での土地取得により、前期比で悪化した。
- 「財務活動によるキャッシュ・フロー」
借入金の増加により、前期比で改善した。

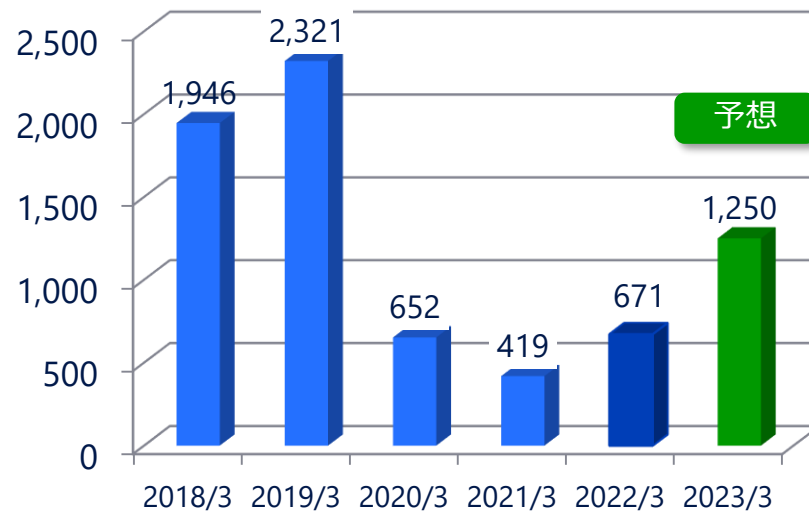
		2022年3月期	2023年3月期	前期比	
		実績	予想	百万円	%
		百万円	百万円	百万円	%
自動車安全部品事業	売上高	35,718	37,800	2,081	5.8
	直接営業利益	▲ 877	100	977	-
	営業利益（社内業務委託費控除後）	▲ 1,273	▲ 236	1,037	-
機能製品事業	売上高	17,764	19,200	1,435	8.1
	直接営業利益	2,556	2,450	▲ 106	▲ 4.2
	営業利益（社内業務委託費控除後）	2,268	2,186	▲ 82	▲ 3.6
不動産収入、本社経費他	売上高	32	30	▲ 2	▲ 6.9
	直接営業利益	▲ 1,142	▲ 1,250	▲ 107	-
	営業利益（社内業務委託費控除後）	▲ 458	▲ 650	▲ 191	-
合 計	売上高	53,514	57,000	3,485	6.5
	営業利益	536	1,300	763	142.5
	(営業利益率)	1.0%	2.3%	-	1.3
	経常利益	671	1,250	578	86.1
	特別損益	35	0	▲ 35	-
	親会社株主に帰属する当期純利益	510	1,000	489	96.0

- 自動車安全部品事業では、豊田合成株式会社との業務提携を推進し、新たな提案型営業の実施、サプライチェーンの見直し、設計・製造・調達の効率化、相互の海外拠点の活用等をはかり、商品競争力の向上と人材育成に取り組む。
- 機能製品事業は、市場ニーズと当社の独自技術をマッチングさせた商品・システムの開発推進および既存技術の品質を向上させることにより、「総合インフラ防災メーカー」の地位確立に引き続き取り組む。

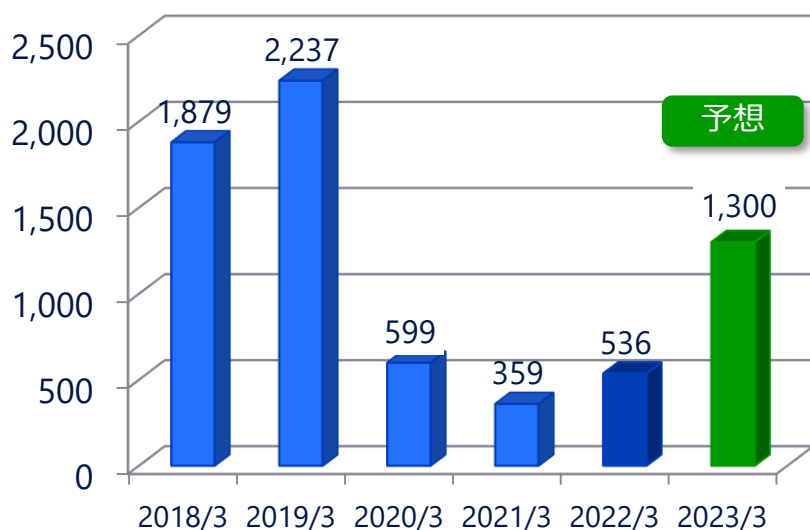
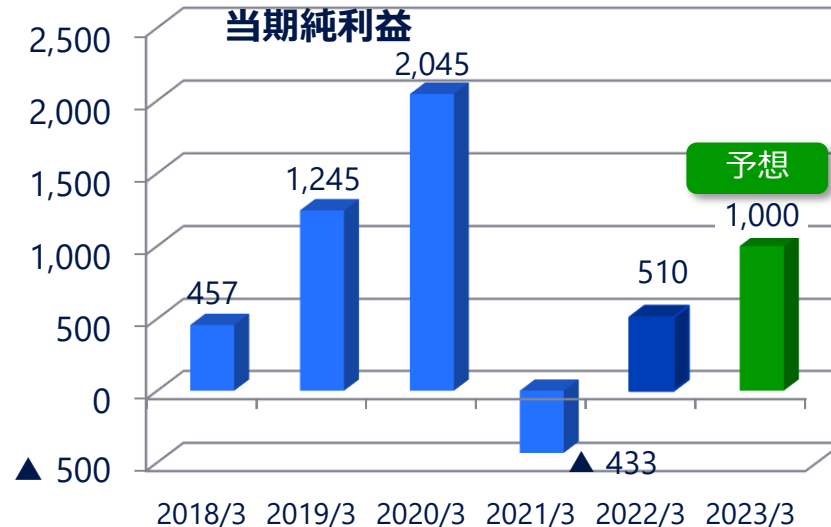
(単位：百万円) 売上高



(単位：百万円) 経常利益



(単位：百万円) 営業利益

(単位：百万円) 親会社株主に帰属する
当期純利益



ちから
つむぐ技術、
つなげる未来

本資料中の業績予想および見込みについての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせ先

芦森工業株式会社 総務部 広報・IR課
TEL : 06-6105-1680
MAIL : ir_madoguchi@ashimori.co.jp
HP : <https://www.ashimori.co.jp>